

仙台市議会だより

sendai city assembly

2000

平成 12年

4月 第 108 号

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL(214)6169
仙台市青葉区国分町三丁目 番 号



仙石線地下化開業（あおば通駅、東西地下自由通路）

第一回定例会の概要

3/17	3/2-16	3/1	2/25-29 2/23・24	2/17
本会議	特別委員会	常任委員会	本会議	本会議
・議案の採決 ・請願・意見書の採決	・各委員会の委員長報告 ・討論 ・議案の採決	・予算案及び予算関連議案の議案審査	・一般質問 ・予算案及び予算関連議案以外の議案審査	・代表質疑 ・理由説明 ・施政方針、議案の提案

市民のみならずまへ

市議会だよりを一新

仙台市議会だよりは今回から大型化・カラー版化とともに編集の全面的な見直しを行い、創刊以来の紙面を一新して市民のみならずまへにお届けしました。

また、第一回定例会の本会議と予算等審査特別委員会を五日間、試行的に市役所の市民のへや、青葉区役所のロビーでテレビ放映を行いました。



市議会がテレビ放映の様子（市民の部屋）

仙台は議会改革の

トップランナー

仙台市議会では、「開かれた議会」との決意で、議会独自の情報公開条例を政令

今定例会では、代表質疑と一般質問に合計十九名の議員が登壇し、市政各般にわたる真剣な議論を展開しました。また、予算等審査特別委員会で、四月の開始を目前に控えた介護保険制度と二十一世紀都市・仙台のまちづくりの基盤となる東西交通軸に関する議案の集中審査を行いました。

（人事案件に対する同意）
固定資産評価審査委員の選任
二一谷 一雄
宮城県公安委員の推薦
藤崎 三郎助

調査特別委員会から

東西線のルートと機種が決定

三月二十三日に開催された東西交通軸促進調査特別委員会において、東西線のルートについては、利便性と事業化の可能性が最も高い動物公園付近から仙台駅を経て荒井地区に至る地下方式を基本とする約十四kmの区間とし、機種については、リニアモーター鉄道に決定したことを市長が正式に表明しました。

市ではじめて制定するなど、積極的に改革に取り組んできました。

議会広報の改革もその一環であり、「議会から市民に近づいていく」との基本認識から、議会だよりの見直し、テレビ・インターネットの活用、その他広報・広聴方法の利用を中心に検討を行い、二十一世紀に向けての方向性をまとめました。そして、いろいろなメディアを活用した議会広報を議員が主体的に実施していくため、新たに議会内に広報委員会を設置し、広報・広聴機能を飛躍的に充実することにいたしました。

地方分権スタート

ちようど今年、地方自治制度の大きな改革が行われ、地方分権の時代がスタートします。分権型社会を確かなものとするため、議会の責務はこれまで以上に重要性を増してきております。こうした中で議会広報は、市民と議会の両方から結ぶ発想をもって、議会のありのままの姿を市民に伝え、市民の様々な意見を議会に反映させることができると新しいシステムをみなさまと一緒に創っていききたいと考えております。

仙台市議会は改革の先導的役割を担い、これからも歩み続けます。

テレビインターネットで本格中継

仙台市議会

議長 岡 征男

副議長 秋山 幸男

来る六月開会予定の第二回定例会からテレビ中継を各区役所・総合支所に拡げて本格的に実施します。また、市議会のホームページを開設し、インターネットを通しての議会中継も行い